

～令和2年度 教員研修会や活動報告会、減災教育フォーラムに参加した助成校の先生方から～

ご意見や全国の学校へメッセージ

- プログラムに参加したことで、それまで取り組んでいなかった大切な活動に正面から向き合うことができました。子どもたちの命を守る実践なので、先生方が興味を持ち、真剣に取り組めば、子どもたちは意欲的に活動できると思います。
- 同じような実践に取り組んでいる学校があることや、その実践を知ることができ、大変参考になりました。防災・減災は今日的な課題であり、しかも大変有効性のある学習だと思います。多くの学校が取り組まれることを望みます。
- 助成金により専門家や大学との協力が可能になり、活動の幅が広がったことで学習内容の質が高まりました。研修会では、全国の先生方と減災について意見交換し、交流するなど普段ではできない体験をさせていただき大変貴重な学びの場となりました。
- 地域や学校種をこえて情報交換ができるので、防災・減災教育に積極的に取り組んでいる学校だけでなく、これから取り組みたい学校にもぜひ参加していただきたいです。
- 自分の学校内だけで完結してしまう防災・減災の取り組みや知識を大きく広げるチャンスです。自助・共助・公助の活動を広めていきましょう。
- 今年度は、コロナ禍により対面での研修会ができない状況でしたが、オンラインでも大変充実したプログラム内容でした。
- 減災教育のヒントや助言をいただけ、視野が広がります。過去のたくさんの実践記録や防災学習シートが役に立ちました。ぜひ参加してください。自校の防災・減災教育が発展します。
- 資金面での支援はもちろん、研修会や活動報告会・減災教育フォーラムでは、各地域における災害の記憶や経験、実情などを知り、全国各地のさまざまな防災教育の取り組みについて学ぶことができます。
- 自校の防災・減災教育を見直すきっかけともなりますので、ぜひ参加してください。
- 実際に被災された方々のリアルなお話や映像を共有していただけたら、他校の取り組みからアイデアを得られたりと、大変有意義なプログラムです。
- 防災・減災教育が子どもたちの主体性を育むという視点を学びました。参加したことで本校の取り組みの方向性が定まり、改善点も明確になりました。次年度以降、よりよい取り組みができそうです。
- 減災教育を通して、普段の教育活動の質的向上も図ることができる貴重なプログラムでした。
- オンラインでの交流を通し、東日本大震災の被災地域の学校の子どもたちや先生方の取り組み、参加校のそれぞれの取り組みから学ぶことがたくさんありました。この機会を通して、全国でつながることも減災教育の重要な視点だと思いました。
- 被災地域とつながり、受講した研修は自分にとって大きな学びとなりました。特に被災地域の中学生が減災教育を通して大きく成長している姿に胸をうたれました。生徒たちが持つ生きる力、どんな困難にもくじけず、ひたむきに生きるその生き様は、コロナ禍の今を生き抜く力に値すると思いました。